

■奄美 RC・那覇 RC 友好クラブ調印式

2019-2-12(火) 於：ロワジールホテル那覇



*奄美ロータリークラブ概要

1961年(S36)1月10日創立
 SC:鹿児島 当初358地区に編入、
 その後1962年(S37)年7月1日か
 ら370地区に編入、373地区を経て
 1977年(S52)7月1日から現在の
 273地区に編成がえになり、1991年
 (H3)7月から2730地区となる。

奄美RC 萩原 正文 幹事・福永 健一 会長/那覇RC 山城 博美 会長・松島 寛和 幹事

■国際ロータリー第2580地区 地区年次大会 2019-2-21(木) 於：ホテルニューオータニ
 友愛の広場「奉仕活動展示」



2016-17年度 安里 政晃 会長・上原 義信 幹事

- ①近年にない積極的な会員増強を行った年度。前年度会員数49名→72名(23名増:うち19名が安里会長のご推薦)新会員対象の勉強会も開催した。
- ②ロータリー財団地区補助金とクラブ予算で「視覚障害者福祉協会へ拡大読書器の寄贈」拡大読書器(テーブル型・携帯型)¥198,000×2+活字文書読み上げ装置¥99,800+充電式バッテリー¥18,900=総額 ¥514,700(地区補助金¥400,000+クラブより ¥114,700=¥514,700)

2017-18年度 名嘉 義明 会長・當間 卓 幹事

- ①「ていーだこども食堂」への耐久備品の寄贈 2017-8-24(木) ていーだこども食堂へ耐久備品(学習用ノートパソコン2台 ¥80,784×2+冷蔵庫 ¥36,504+冷蔵庫 ¥174,000+電子レンジ¥40,824+炊飯器2台¥18,144×2=総額 ¥449,184(地区補助金¥360,000+クラブ負担¥89,184)

- ②「石嶺児童園へサクラ苗木の記念植樹」地球環境問題への意識を高めてもらうことを目的に、2017-18年度イアン・HS・ライズリーR1会長が、各クラブへ植樹を呼びかけていることを受け、那覇ロータリークラブのサクラ植樹が12日午前、那覇市首里石嶺町の石嶺児童園で行われ、会員24人が出席して、78本のサクラの木を園庭に植えた。

2018-19年度 山城 博美 会長・松島 寛和 幹事

- ①毎年12月恒例の「沖縄分区分区インターアクト国際通り清掃活動」へ参加し、インターアクトと共に汗を流した。

週報

インスピレーションに
 なるよう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長

第2715号

平成31年
 2月26日
 2019年
 FEB

那覇ロータリークラブ

第2839回 例会報告 例会記録・予定

出席報告

会 員 数	82名
出 席 計 算 会 員	82名
出 席	31名
欠 席	51名
出 席 率	37.35%
訂 正 出 席 率	63.86%

退会 高津 友彦 会員(スポーツ団体)
 欠席会員名 親泊、新本、宮城、安里(政)、中村、碓井、湧川(祐)、東川平(靖)、亀川(偉)、吉村、新垣(豊)、長山、与儀、平良(修)、鈴木(康)、新里、三反園、保田盛、喜屋武、許田、津嘉山、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、北田、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、長嶺(国)、赤嶺、川井田、藤井、米須、赤嶺、本尹、堀川、下地、佐久本、相良、義元、砂川。
 MAKE-UP
 新本、安里(政)、上原(義)、金城<地区ロータリー財団セミナー>
 新本<米山奨学生機期間終了式>
 桑原<浦添>鈴木(康)<山形東>

ビジター

名幸 俊海 氏(那覇西)
 ゲスト・スピーカー
 安里 積秀 氏(株)バイオジェット総務部総務統括

☆プログラム

3月5日(火)
 「私がサンゴに優しい日焼け止めを創った理由」
 ジェルイー合同会社 代表取締役
 呉屋 由希乃 氏

3月12日(火)「ロワジールホテルでの移動例会」
 「沖縄を、アレルギー対応のアジアNo1に！」
 アレルギー対応沖縄サポートデスク 理事
 棚野 浩 氏

3月19日(火)「演題未定」
 (株)カリユシ・カンナタラソラグーナ 支配人
 冨師 里佳 氏

■理事会 3/5(火) 11:30~ 於：例会場

3月のRIレートは1ドル→110円です。

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1(パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918
 E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス : http://naha-rc.org/
 会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一
 幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX (*^^) 2/12

吉田 秀得 氏 (東京池袋)

60 周年おめでとう御座居ます。池袋ロータリークラブも 60 周年を 4 月に迎えます。

加古 博昭 氏 (東京池袋)

那覇ロータリークラブ 60 周年まことにおめでとうございます。

小林 征夫 氏 (東京池袋)

60 周年記念、心より御祝い申し上げます。

山中 正和 氏 (東京池袋)

創立 60 周年おめでとうございます。

鈴木 信 那覇 RC パスト会長

Hope to be more resilient and thriving

梶原 浩美 会員 クラブ創立 60 周年を祝して!

■ニコニコBOX (*^^) 2/26



おめでとうございます
二月の誕生祝い

今西 泰彦 会員・新垣 淑典 会員・木全 志朗 会員

誕生祝いありがとうございます。

山城 博美 会長 会員の皆さんの 60 周年記念事業へのご協力に感謝して、ニコニコ。

松島 寛和 幹事 先日、長男が結婚致しました。久しぶりに、新婚時代を思い出しました。ニコニコ!

與座 嘉博 会員 60 周年記念事業に関われず申し訳ありません。また歴代会長表彰も頂き恐縮です。今後共宜しくお願い申し上げます。

新垣 淑典 会員

鈴木健介さんの入会を祝して、ニコニコ。

森 兵次 会員

8 泊 9 日かけて台湾一周サイクリングを完走しました。ニコニコ。

■特別会計 2018-2019 年度 ニコニコBOX

本日のニコニコ BOX	¥16,000
2 ニコニコBOX 累計	¥361,000

■歴代会長表彰盾の贈呈



山城会長より
第五十五代
與座 嘉博 会長へ

■新会員のご紹介 ご入会おめでとうございます



鈴木 健介 (すずき
けんすけ) 会員

本籍: 東京都

生年月日: 1976 年

12 月 9 日

現住所: 那覇市泉崎 2-105-18-702

職業: (株)ラビットプログレス 代表取締役

学歴: 立教大学経済学部経済学科卒業

職歴: システム開発会社・WEB 制作会社勤務を経て、2001 年、WEB 制作事業で独立。

2004 年、有限会社ラビットプログレス設立 (後に株式会社に組織変更)

2006 年~BNI 日本初グループメンバーとして活動開始。2010 年~同組織の東京千代田区の責任者として、立ち上げ・運営に携わる。2016 年、同事業に関連した 2 つの貸し会議室事業とともに譲渡 (翌年沖縄へ移住) 2018 年~現職。

職業分類: 声紋分析コンサルティング

推薦者: 新垣 淑典 会員 委員会: 親睦活動

■テレビ会議のお知らせ<東京>ガバナー事務所

⇔ <沖縄>那覇 RC 事務局

3/7 (木) 15:00~17:00「地区青少年奉仕委員会」

3/15 (金) 13:00~15:00「地区ライラ委員会」

3/18 (月) 14:30~17:00「地区クラブ奉仕委員会・

地区社会奉仕委員会合同会議」

3/22 (金) 15:00~17:00

「次年度地区米山奨学委員会」

3/25 (月) 15:00~17:00

「地区オンツーンハンブルグ委員会」

■第 23 回例会 卓話「サステイナブル・イマイユ」



「沖繩の魚はおいしくない」のか
「今後も沖縄の魚を活用した事業に取り組みたいのでまいりますのでご協力下さい。」

都市のニーズと農村の課題をマッチングさせ、農山村から日本を改革する NPO を運営している。中山間地、山奥には荒れた畑や空き家など課題は山ほどある一方、都市側には活用したいニーズがたくさんある。荒れた畑を再生し、酒米作りをして出来上がった日本酒を会社が使う仕組みをつくった。最近では地域に若者を送っている。地元茨城で立ち上げ、総務大臣賞をいただいたのは空き家に特化した NPO 「遊楽」だ。地区 100 年前後の空き家再生には数百万円、かやぶきだと 3 千万円かかる。人の労力だけで空き家を再生できないかと実験した。年間約 2 千人の若者がいれば、空き家を再生できる。(東京から) 若者を連れてきて町の人と交流させて空き家の再生活動をさせた。年間 3 軒ほど再生に成功し、副産業、ビジネスに発展した。沖縄で活動を始めて 8 年になる。モーアシビープロジェクトと、ずっと美味しい「沖繩の魚」を意味する「サステイナブル・イマイユ」の話をする。周りの沖縄の人が「沖繩の魚はおいしくない」と声をそろえた。それがスタート。私自身もそう思っていた。沖縄料理屋も居酒屋もお刺身が出される時、わさび醤油が出る。本来、沖縄は刺身をわさび醤油で食べないのではないかと。北陸とか北海道の脂身の魚には勝ち目がないと思う。

沖縄の食堂は文化

魚の仲卸をしている糸満の友人が「沖繩の魚は酢味噌や漬けで食べる」と言い、実際に食べるとおいしかったが、観光客は知らない。意気投合した彼と会社をつくった。最初が 22 坪の「糸満漁民食堂」だ。食堂はご飯を食べる場所

だが、沖縄では食堂自体が文化だ。人々と密接な関係にあり、行けば会話があり、食を支えている。素晴らしい。糸満市の 60 人に集まってもらいワークショップをし、糸満で元々食べられていた料理を現代の技法で再生した。昔ながらの料理と新郷土料理がメニューだ。国内外で 9 つの賞をいただき、全国から業界の方々が見に来てくれる。食堂を自慢する糸満の人たちがゲストを連れてくる。地元客が 50%、観光客が 50%だ。「沖繩の魚はおいしい」と言わせることができたかなと思う。ファストフードでも言わせたいと、瀬長島にエイトシーバーを立ち上げ、メインはフィッシュバーガー。にぎわっている。もうすぐ、3 店舗の刺身屋を造る。サステイナブル・ディベロップメント・ゴール、SDGs という言葉がある。環境破壊に対し、世界が目標をもって持続可能な開発をしていこうということで、国連単位で活動している。明確な海洋資源保護の目標ができた。沖縄の魚の消費拡大を図っているが、世界ではいきなり悪者になる。天然の魚を取り過ぎだと。世界基準では全くいいことをしていかなかったのはショックだった。海洋資源保護に向け新たな活動も始める。情報発信力のあるアーティストとスタートしたプロジェクトがモーアシビー。サザン、ユーミンらの CD ジャケットをデザインし続け、沖縄に移住した進藤三雄さんを慕う著名アーティストに沖縄を好きになって、いい素材を世界に発信していく取り組みを仕切らせてもらっている。魚の残渣とビール工場から出る残渣から魚のえさをつくる研究も始めた。私どもだけでは実現できないと思う。興味のある方と活動したいので、協力をお願いしたい。文責: クラブ会報委員長 松元 剛